

『時事直言』 No.1758 2025 年 9 月 1 日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](#)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](#)



時事評論家 増田俊男

植田日銀総裁もまたパウエル FRB 議長同様に Mr. Too Late(何をやっても遅過ぎる)である

トランプ大統領はパウエル FRB 議長を Mr. Too Late と呼ぶ。

パウエル議長は 2021 年半ばから物価が上昇してきた際、「一過性だ」と言って、利上げをしなかった結果 2022 年 6 月の物価上昇率は 9.1% となり FRB は慌てて利上げを開始した経緯がある。

パウエル議長は 2024 年 12 月までに 0.75% の利下げをしたが、それ以後現状維持で 7 月も利下げをしなかった。

トランプはパウエルに利上げを求め続けているが、パウエルはトランプよりデータを重視するので応じない。トランプは何度も「お前は首だ」と言うものの、大統領権限では解雇出来ないので、FRB 本部改装に問題ありとしてパウエルに責任を追及するなどして何としても利下げを実現したい。(トランプ関税不況を防ぐ為)

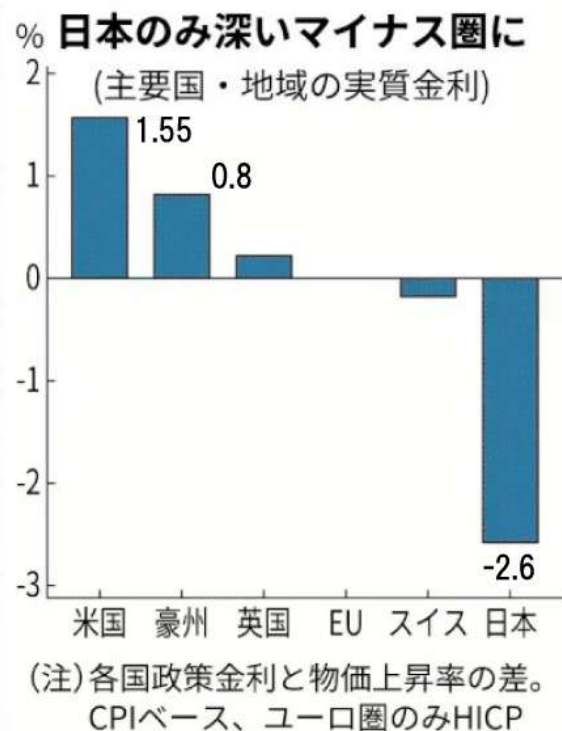
8 月 1 日発表の雇用統計は 5 月と 6 月の総数 286,000 人から 250,000 人下方修正、7 月も 100,000 人の予想より低い 73,000 人となり 3 か月平均 3 万人と言う雇用激減が明らかになった。

トランプは雇用激減を発表した労働省統計局長マッケンターファー女史を自分と共和党を不利にするために数字を操作したと言って解雇した。

一方パウエル(FRB)議長は、雇用が激減したのに失業率が 4.1-4.2% と低い水準で推移しているのを「奇妙な現象」と言ったが、私はトランプの移民政策で 2025 年 3 月から 4 か月間で(アメリカ生まれでない)移民労働者約 3,200 万人から約 130 万人が減少したからだと説明した。

パウエル議長はトランプ関税が物価に影響していることは認めても加速していないことから労働市場に重きを置くと言っているので 9 月の FOMC(9 月 16-17 日)で 0.25% の利上げをするだろう。

日銀が定めた公定歩合 0.5% に対してイギリスに次ぐ第二の物価上昇率の日本の(名目金利からイン



フレートを差し引いた)実質金利は(特殊事情のスイスを除けば)世界一低いマイナス 2.6%である。

日本のインフレ率は英国に次いで世界第二の 3%でアメリカより高い。

日銀が国民最大の問題である物価に視点を置くなら遅過ぎになる前に追加利上げをしていなくてはならない。

共産党に、「日銀は国民の為ではなく企業の為にあるのではないか」と言われても仕方がない。

日銀の植田総裁に対してベッセント米財務長官は「日銀は後手に回っている」と言っている。

9 月の政策決定会合(9 月 18-19 日)には 0.25%の追加利上げをすると思われるが、2026 年途中で 1%利上げ予定なので、物価が下がらない限り実質金利はマイナスのままである。

従って FRB 利下げ、日銀利上げでも実質金利がマイナスのままでは円安(140-180 円)が続き輸入物価が上がり続けインフレ加速の悪循環となる。

トランプがパウエルに言う通り、植田日銀総裁も又 Mr. Too Late である。

目に見えない真実を的確にとらえて毎日解説する「インターネット目からウロコの増田塾」で、時代に後れないよう勉強して下さい。

大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.151

『トランプ盛衰と戦争の世紀到来！』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 151 は**大好評発売中**です。

内容は、***ウクライナ戦争とイスラエル・ハマス戦争の裏表** ***二度と戦争を起こさない為に設立された国連だが** ***世界の警察官(アメリカ)が居直り強盗(トランプ)になった** ***トランプ関税の損益勘定** ***戦争の世紀到来-戦争へ、戦争へと草木もなびく** ***終わりに 事実上主権がない日本の運命**です。価格は、**1冊 5,800 円(送料別)**。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。